

商品名	笠戸丸	とうざん 東山農場	ホア エスペランサ農園	パウ農園
				
時代区分	苦難の時代 1908～1919年	開拓の時代 1920～1974年	挑戦の時代 1975～1985年	成熟の時代 1986年～現在
時代補足	最初の移民が農園労働者として契約雇用された時代。	自分の土地を求める移民達が入植地から移動。小集団日系社会を作り始めた時代。	セラード開発事業が始まり、広大な土地に夢を馳せた人たちの挑戦の時代。	日系農園の中からは、スペシャルティコーヒーとして名高い農園も出現するなど成熟の時代。
生豆産地	アララクアラ・モジアナ	カンピーナス	セラード西部	セラード東部
特徴	日本移民が最初に農園労働者として契約雇用されたアララクアラ・モジアナ地域で栽培されたコーヒー。上品な酸味と甘み・ボディを兼ね備えた味わい。	1927年三菱財閥創設者岩崎家が社会貢献を目的に設立した東山農場で栽培されたコーヒー。程よい酸味と甘みがあり、すっきりとした味わい。	1984年にセラードに移住してきた日系二世のYasunaka氏の農園で栽培されたコーヒー。樹上でコーヒーチェリーを過熟させてから収穫することで独特の甘みを引き出します。甘みとコクがある味わい。	1992年より、コーヒー農園を始めた日系二世Fukuda氏の農園で栽培されたコーヒー。樹上でコーヒーチェリーを過熟させ、天日乾燥後、木製倉庫でしばらく寝かせて仕上げます。甘みとボディがある味わい。